

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000034"/> 整理番号 <input type="text" value="11514"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="棒状強磁性体内包カーボンナノチューブ探針素子・デバイス化の方法と装置"/>
技術分野	<input type="text" value="無機材料"/> <input type="text" value="電気・電子"/> <input type="text" value="情報・通信"/>
適用製品	<input type="text" value="磁気力顕微鏡探針、スピン偏極電子線源、スピンドायオード・トランジスタ・メモリなど"/>
目 的	<input type="text" value="棒状の磁性体金属を十分に内包したカーボン・ナノ・チューブ(CNT)を析出させる磁性体内包CNTの析出装置及び方法の提供。"/>
技術概要	<input type="text" value="液体や気化させたアルコール中に設置した基板に直流やパルス電源による大電流通電や沿面放電を行わせ、その電流経路上に設置した強磁性体の箔やメッシュの局所に収斂させた部分へ、赤外や可視・紫外域のランプ光やレーザ光を同時照射することにより、棒状の強磁性金属を内包した数から数百層のグラフェンシートで構成されるカーボンナノチューブが生成し、電流値やパルス幅・通電時間・ランプ光やレーザ光の波長・光強度・光照射時間によって制御する装置によってその長さや太さを調整することが可能となった。"/> <input type="text" value="また、原料のアルコールのみではi型カーボンナノチューブが生成するが、アルコール中に不純物を添加してp型ないしはn型の半導体カーボンナノチューブを生成し、それをその内外に接合し、集束イオンビーム装置による切断加工や強磁性体や常磁性体及び反磁性体の電極形成を行うことによってナノメートル程度の同軸型半導体素子を作成している。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
所 属	<input type="text"/> 役職 <input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>
連絡事項	<input type="text"/>



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp